



第1限 半島を知る、愉しむ、生きる

12/5 10:30~12:00 自然、歴史、人”つまみ食い”

南海トラフと巨大地震・津波、片浜十三里の海食崖線・照葉樹。
シデコブシとハマボウ。保美・伊川津縄文人、渥美古窯、
西行、芭蕉、伊能忠敬、柳田國男（椰子の実）の足跡。
日本帝国陸軍伊良湖射場 など

平川一臣先生 :北海道大学名誉教授

第2限 半島を知る、愉しむ、生きる

12/5 13:00~14:30 南稜地区の風土今昔

田原湾：縄文・弥生人から海軍飛行場～海苔養殖～トヨタ自動車工場・明海工業団地へ、ぼくり（木履）石～紫式部伝説、幻のベニス
高師原：大津神戸、のぼり窯とシラタマホシクサの谷、陸軍練兵場
・大清水飛行場から緊急入植開拓～富士見台住宅地開発 など

平川一臣先生 :北海道大学名誉教授

第3限 AIと振り返る科学技術の進歩

12/5 14:45~16:15

自分史を書く古希の年になってAIが現れ、毎日のニュースになっている。AIと、もう一度、自分のエンジニアとしての仕事、自分の書いた論文を見直してみようと思った。
そこで見つけた新しい気づきについて話します。若い人だけでなく、古希に向かう人のAI活用の参考になればと思う。

佐藤正典先生 :株式会社パスコ顧問・博士(工学)

第4限 子供の心を育てる暮らしの形

12/6 10:30~12:00

大正時代、豊橋松操女学校では、「背守り」「裁縫雛形」「包のし」が学ばれていました。
本講演では、明治末から大正期の女子教育が、単に裁縫や作法を教えるものではなく、暮らしの形を通して心を育てる教育であったことを紹介します。

佐藤泰子先生 :愛知大学総合郷土研究所研究員

第5限 インフレ時代のやさしい 資産防衛講座

12/6 13:00~14:30

ご自身の財産を「使うお金」「守るお金」「育てるお金」「引き継ぐお金」の4つの目的に分けて整理し、自分に合った資産の持ち方を、落ち着いて検討できるようになること。
自分らしい暮らしを続けられる状態をつくることを目指します。

諸石光代先生 :公認会計士・税理士

第6限 かな・カナ・仮名

12/6 14:45~16:15

普段何気なく使っている「ひらがな」は、どのように生まれたのでしょうか。仮名の歴史や成り立ちをたどりながら、昔使われていた変体仮名の読み方や書き方を楽しく体験します。実際に文字を読んだり、自分の名前を書いたりしながら、身近な仮名文字の奥深さや美しさにふれてみましょう。

松浦彰子先生 :書道愛好家

